繊維補強コンクリート（材料）

座長:六郷恵哲(土木),松尾栄治(建築)
2024年6月26日(水) 10:00 〜 12:00 第2会場 (小展示室B)

[1172]UFCを採用したマッシブなプレキャストコンクリート部材の初期養生時における内部温度履歴の把握

酒井賢太[1], 石田征男[2], 上山幸雄[3], 三木朋広[4] (1.戸田建設 2.太平洋セメント 3.日本ヒューム 4.神戸大学)
キーワード：超高強度繊維補強コンクリート、マッシブ部材、内部温度履歴

超高強度繊維補強コンクリート（ UFC）を採用したマッシブなプレキャストコンクリート部材の初期養生時における内部温度履歴の把握のために，練混ぜ水に収縮低減剤を内割添加した UFCを用いてマッシブな模擬部材を製作し，内部温度およびコンクリートひずみを計測した。初期養生として，前置き3時間後に1時間あたり15℃で昇温し，養生槽内温度40℃を48時間保持後に自然放冷を行った。その結果，模擬部材の中心部のコンクリート温度は，材齢約24時間で96.4℃に達するがシースの内空の影響を受ける可能性があること，模擬部材の側面部およびシース付近でコンクリートの温度勾配が大きくなる傾向があることがわかった。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会